

防災情報をIoTで効率よく可視化

LPWAを使用した 防災監視サービスの実証実験を開始します

浸水などの防災情報をLPWAネットワークで通信するのは国内初の試み^{注1}。
低コスト・低消費電力な防災監視サービスの提供の実現に向けて取り組んでいます。

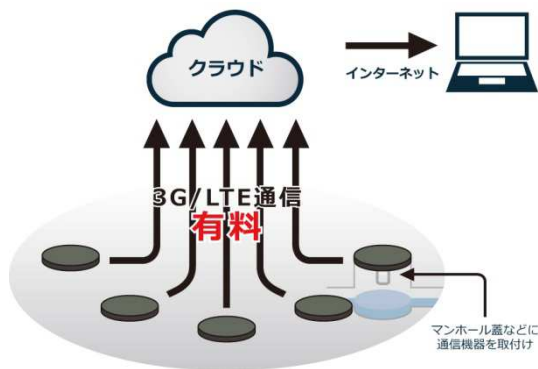
～ ご紹介のお願い ～

株式会社明電舎（取締役社長：浜崎祐司 / 東京都品川区、以下明電舎）は、2017年3月より、LPWA（Low Power Wide Area）ネットワークを活用したIoTソリューションの提供として防災の一環として都市水害対策などへの活用を目的とした防災監視サービスの商用化に向けた実証実験を開始します。

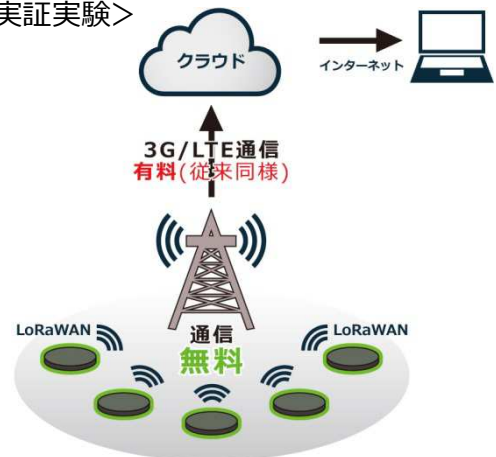
今回の実証実験では、LPWAネットワークの一つであるLoRaWANTM（ローラワン）^{注2}を活用して浸水監視を行い、浸水情報をリアルタイムで捉え、降雨レーダー情報と連携することで、近年増加しているゲリラ豪雨などに対して、安価で的確な都市水害対策を支援します。第一弾としてKDDI株式会社と共に国土交通省の技術支援のもと、下水道の内水氾濫による浸水監視の実証実験を神奈川県厚木市で行います。

従来マンホール^{注3}など1つ1つに3G/LTE通信機器を取り付けていましたが、LoRaWANTMを使用することで3G/LTE通信は基地局のみとなり、低コスト・低消費電力のIoT通信を実現し、面的にセンサデバイスを配置した場合でも導入する自治体などの維持コストを大幅に抑えることが可能です。

＜従来＞



＜実証実験＞



現在、LPWAなどのIoTネットワークを活用した浸水防災をはじめ崖崩防災などのクラウド型防災プラットフォームの構築と監視サービスの提供に向けて準備を進めています。今後は、面的に配置された各種IoTセンサから収集したデータをAI（人工知能）で分析し、情報トリージ（緊急時における情報の優先付け）や予測などの関連情報サービスとコンサルティングの提供を目指しています。

明電舎は、防災監視をはじめとする社会インフラ分野でのIoTソリューションサービスを通じて、今後も地域の皆様に満足頂ける魅力的なサービスの提供を目指してまいります。

◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

【株式会社明電舎 総務部 広報課 担当：土橋（どばし）】

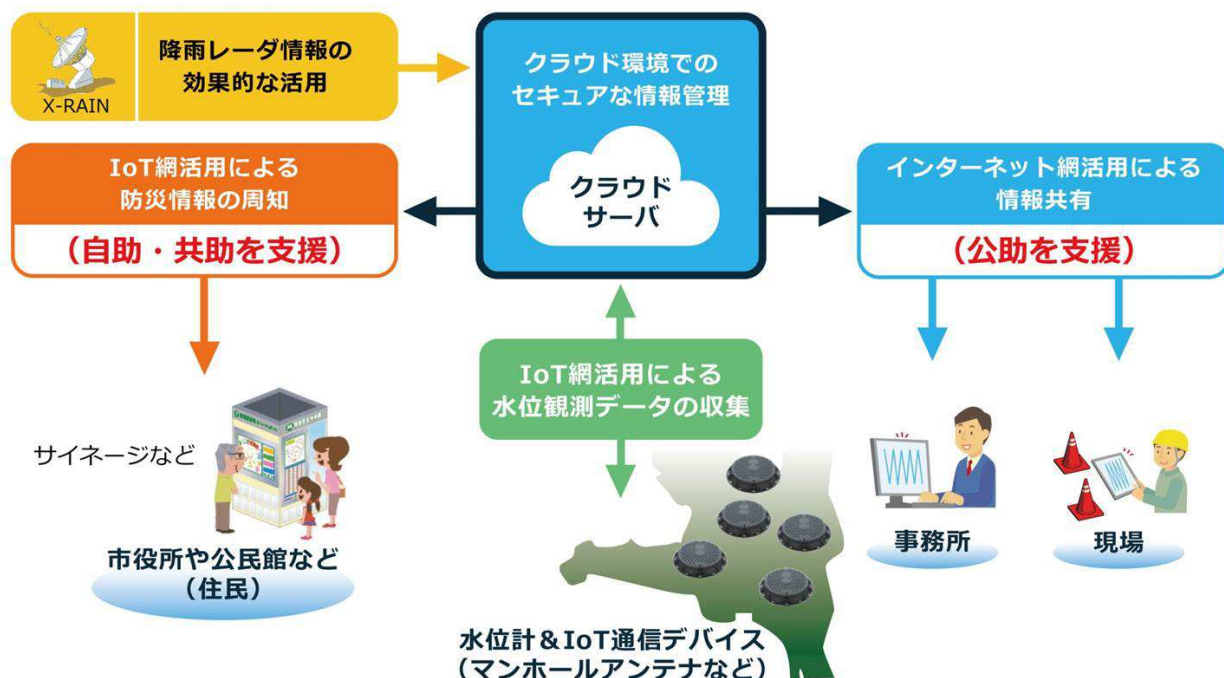
TEL：03-6420-7739 FAX：03-5745-3027

携帯：080-6650-2310 mail：dobashi-a@mb.meidensha.co.jp

<役割分担>

明電舎	IoT 計測・通信端末環境の構築、水位・雨量監視環境の構築、データ取り纏め及び報告書作成
国交省	都市域の浸水把握の全国展開にあたっての行政・技術等の課題留意点の抽出
KDDI	IoT 網及びバックホール通信環境の構築、情報配信環境の構築
厚木市	フィールド提供（河川みどり部下水道施設課）

<浸水監視サービス実証実験の概要イメージ>



※注 1 当社調べ

※注 2 L o R a W A NTMの名称は Semtech Corporation（セムテックコーポレーション）の商標です。

※注 3 マンホールアンテナは、東京都下水道サービス㈱と日之出水道機器㈱および㈱明電舎との共同開発品です。

◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

【株式会社明電舎 総務部 広報課 担当：土橋（どばし）】

TEL：03-6420-7739 FAX：03-5745-3027

携帯：080-6650-2310 mail：dobashi-a@mb.meidensha.co.jp